

## 創業制度利用者のご紹介について

### M' s FACTORY

代表  
はやし まさたか  
林 政孝 さん

**勤**務していたリサイクルショップが四万十市からの撤退を決め、解雇を言い渡されたことを機に、独立開業を決めた林政孝さん。「店長についていきます!」という4人の従業員とともに、M' s FACTORYをオープンしました。  
地域に根差す「あってうれしい店」に、そして地域外からも「わざわざ行きたい店」になりたいと、唯一無二のリサイクルショップを目指して奮闘しています。



### 慕ってくれるお客様が気持ちの支えに

東京のアパレルメーカーで働いていた林さんは、ファッションに精通し、洋服好きの人たちから慕われる存在で、自身も大の洋服好き。いつかは古着をメインにしたリサイクルショップを持ちたいと考えていました。

その後、四万十市内のリサイクルショップチェーンで11年間店長として店を切り盛りし、衣類をはじめ、家電、食器、本など幅広く扱う総合リサイクルショップとして、地域の人々の暮らしに根付いていました。

しかし、昨年、勤務先のリサイクルショップチェーンが四万十市からの撤退を決め、全員解雇の通告を受けたことから、独立開業を決意。知り合いの不動産会社の社長を通じて幡多信用金庫に融資の相談をしました。当初の創業計画では、洋服主体の小さな店での創業を予定していましたが、店舗の契約段階で「賃貸ではなく売買で」と条件が変わり、やむなく断念。撤退するリサイクルショップの店舗を、居抜きで借りることにしました。「予定の店舗よりもスペースが広がったことで、より多くの商品を調達しなければならなくなり、仕入れ額が膨らみました。外装や内装まで資金が回りませんでした。多彩な品揃えをすることでお客様に喜んでいただける店にしたいと思いました」と振り返ります。

リサイクルショップ業は、商品の仕入れ額・販売額がものによって異なり、販売計画の立案が難しい業種。そのため、林さんは事業計画の実現性を高めるために高知県信用保証協会、幡多信用金庫、税理士などによる専門家チームと何度も意見交換を行うことで、創業計画をブラッシュアップしていきました。そして、昨年12月25日にM' s FACTORYを創業。今年2月8日から買取をスタートし、3月1日に店舗をグランドオープンしました。



#### 会社概要

M' s FACTORY

所在地 〒787-0010  
四万十市古津賀1602

T E L 0880-34-8785



### 人を大事に、ご縁を大事に

「リサイクルショップで最も重要なのは、買取の能力です。お客様が持ち込んだ物の価値を正しく判断するとともに、お客様の気持ちを大事にする接客が大切です」と林さん。持ち込まれるのは不要品だけでなく、お客様にとって大切な物であったり、古いけれど価値がある物というのもよくあること。「その時に『いい物お持ちですね』『これ珍しいですね』と声をかけると、わかってくれる人だと思って気持ちよく手放せると思うんです。自分だったらこうしてほしいなと思う接客を心がけています」と話します。

ブランド品やヴィンテージ品については、知識と経験に基づくしっかりとした目利きが必要で、お客様ががっかりさせないことも重要。特に、洋服については他店に負けない買取力を自負しており、ついてきてくれた4人のスタッフの経験値も大きな戦力となっています。「家具や食器など、骨董の分野については、まだまだこれからです。しっかり勉強して、目利きを磨いていきます!」と、新たなスキルへの挑戦も始まっています。

### 不要なものを再生し、次の人に手渡す

リサイクルショップの魅力は、「同じものがないこと」。お客様が持ち込む物は、一つひとつ色や形、デザイン、サイズなどが異なり、「飽きないです!楽しいんですよ」と林さん。家具や家電、食器、日用品など、「壊れているもの以外は何でも買い取ります」がM' s FACTORYのスタイルで、「それをきれいに磨き上げる作業も楽しい」とうれしそうに話します。出張買取もっており、「あれもこれも一度に片付いた」と喜ばれ、それを聞いた別のお客様から声がかかることも。「最初にご依頼いただいたもの以外の物も引き取りますし、一つひとつきちんと物を見て値段をつけます。お客様のお役に立つことができるだけでなく、私たちにとっては商品が増えることになりまますから、win-winの関係が築けます。それをまた誰かに手渡し、役立ててもらえるのもとてもうれしいです」と、大きなやりがいを感じています。



林さんが目指しているのは、「いいものが見つかる店」。ブランド品などハットとするもの、ときめくものを扱い、中古でもいいものが欲しいという層を取り込みたいと考えています。そのため、上質な中古品を仕入れるルートの開拓を進めています。「解体業者や片づけ専門業者など、以前の会社ではできなかった業者との提携を始めました。仕入れルートを広げてお客様のニーズに応えるとともに、品揃えが楽しい特徴ある店づくりをしていきたいです」と話します。

新型コロナウイルスの影響により、オープン後は営業自粛が続いたM' s FACTORY。6月20日からようやく本格稼働となりました。将来的には県外のリサイクルショップのない地域への出店も視野に入れ、今日も買取・販売ともにフル稼働です。

### 創業者に聞く! 保証協会利用のご感想

高知県信用保証協会 幡多支所さんをはじめ、幡多信用金庫さん、中村商工会議所さん、税理士さんなど、たくさんのプロに創業をサポートしていただきました。地域の方々のつながりを作っていただき、「何かあっても相談できる」と、安心して事業に専念できています。



●取材協力/writer 深田 美佳 photographer 前田 実津